

あ と が き

この「点数一覧表」は、昭和46年に岐阜県医師会の“保険の手引き”の付録として、耳鼻咽喉科の保険点数を一枚の紙に列記したことから始まりました。昭和47年に友人の勧めもあり小冊子に見やすくまとめて、岐阜市耳鼻咽喉科医会より発行しました。昭和51年から河嶋光初代会長や降矢宜成元先生のお勧めで、日本耳鼻咽喉科医会連合会より発行し、昭和52年から片岡康男2代会長にお世話になってまいりましたが、平成2年から岐阜市耳鼻咽喉科医会で発行することになりました。日本耳鼻咽喉科医会連合会を離れてから、平成10年に至るまで片岡康男元会長や諸先生方のご援助を賜りまして、発行を維持出来たことを心よりお礼申し上げます。

さて、平成11年から日本耳鼻咽喉科医会連合会と岐阜市耳鼻咽喉科医会との共同で発行することになりました。平成14年度より点数表の内容は複雑になりましたので、編集は息子俊夫に任せて総括的な観点から見守っていくことにしました。今後も、私はライフワークとしての信念を持って、根気よく監修していくつもりでいますのでよろしくお願いします。

この度の発行に関しては、新しく生まれ変わりました特定非営利活動法人 日本耳鼻咽喉科医会 関根惟和理事長、本城好春副理事長、石山英一理事の諸先生方にご尽力いただきましたことを深く感謝しています。

平成16年5月7日

江崎計三

第23版 あ と が き

平成20年から診療報酬改定の情報はインターネットで公開されるようになり、平成22年は答申案の前段階から情報公開が開始され、診療報酬改定の解説スライドは、厚生労働省がホームページ(<http://www.mhlw.go.jp/>)の「平成22年度診療報酬改定について」に155枚、一方、(社)日本医師会がメンバーズルームの「平成22年度診療報酬改定の情報」に336枚を公開しましたので、スライドのおかげで誰もが居ながらにして診療報酬改定の内容を知ることができる時代になりました。今年度は医科診療報酬点数表の全面的な見直を行いました。

付属の資料は今回も充実を図り、巷で公開されている資料をまとめました。特に、患者さんの医療に対する関心が昔と比べて感謝の気持ちというよりも何か失敗があったら訴えようという風潮がありますので、日耳鼻 岐阜県地方部会医事問題委員会委員長18年間に集めた資料を加えました。

この小冊紙は「診療の手引き」として捉えていただき、診療で疑問が生じたら解決策を見出すために日常診察室の机の片隅において役立てていただきたいと思います。ただ、保険点数の運用は各都道府県で違いますので、具体的な疑問点は各都道府県の保険医療委員か審査委員にお確かめください。

なお、この小冊紙が発刊以後は、岐阜市耳鼻咽喉科医会のひろば(www.geocities.jp/gifujibika/)で、医療関連情報をリアルタイムに公開していますので、一度ご覧いただけたら幸いです。

最後に、平成16年に逝去しました父の遺志を継いで今後もこの小冊紙の編集に携わっていく所存でございますので、よろしくお願い致します。

平成22年6月15日

江崎 俊夫

〒104-0031 東京都中央区京橋2-11-8 全医協連合会館5F

特定非営利活動法人 日本耳鼻咽喉科医会 TEL 03-5524-5230 FAX 03-5524-5228

〒500-8074 岐阜市七軒町22 江崎耳鼻咽喉科 江崎俊夫

FAX 058-266-0207

大垣共立銀行今小町支店 普通預金 口座番号 766324 岐阜市耳鼻科医会

岐阜市耳鼻咽喉科医会のひろば www.geocities.jp/gifujibika/

耳鼻咽喉科領域の社会保険点数早見表・診療所

平成22年4月1日（日本耳鼻咽喉科医会）



初 診 料				
	時間内	時間外	休 日	深 夜
6歳以上	270点	355点	520点	750点
6歳未満	345点	470点	635点	965点

夜間・早朝等加算 +50点：初診・再診の診療時間内で、平日（18～22時 6時～8時）、土曜（12時～22時 6時～8時）〔表示診療時間が過30時間以上の診療所、診療時間を掲示〕
 ＊診療時間で休日・深夜を表示している診療所は、夜間・早朝等加算を算定可能。要届出

再 診 料				
	時間内	時間外	休 日	深 夜
6歳以上	69点	134点	259点	489点
6歳未満	107点	204点	329点	659点

外来管理加算 +52点：患者本人でも簡単な症状の確認等を行ったのみでの継続処方は算定不可
 地域医療貢献加算 +3点：患者からの電話等の問い合わせに、標榜時間以外も対応可能な体制の診療所（要届出）
 明細書発行体制等加算 +1点：レセプト電子請求の実施、明細書の無料発行及びその旨の院内掲示の診療所（要届出）

投 薬 料				
使用薬剤	調剤	院内処方	薬剤	
内服薬及び浸煎薬	9	処方料（6剤以下）	42	1剤1日分
噴 服 薬	9	3歳未満	+3	1回分
外 用 薬	6	薬剤情報提供料	10	
		手帳記載加算	+3	1調剤

麻薬・向精神薬を投薬した時は1処方に付各1点を加算
 処方せん料（処方料包括）交付 6種類以下 68
 1回につき①3歳未満 +3 7種類以上 40

耳鼻咽喉科特定疾患指導管理料 150点
 月1回算定。15歳未満の反復・遷延する滲出性中耳炎に限る。但し、初診の日から1月以内は、初診料に含まれる。

薬剤料
 処置・手術・麻酔・検査では使用薬価が15円以下は算定できない。

注 射 料				
皮内・皮下筋肉内（1回）	18	鼓室内薬液注入も同じ		
静脈内（1回）	30	6歳未満+42=72		
点滴注射（1日：外来）	6歳以上 47 6歳未満 89	1日の注射量500 cc 未満 1日の注射量100 cc 未満		

検査の採血料（1日につき）
 静脈・・・6歳以上 13 6歳未満 27
 耳朵・尖指・・・6歳以上 6 6歳未満 20

自覚的聴力検査	補聴器適合検査 1回目	1300	※内視鏡検査（月内2回目	90/100）	*内視鏡下生検法（1臓器）	310	皮内反応検査1日につき	
1. 標準純音聴力検査	350	2回目以降	700	中耳ファイバースコピー	240	組織試験採取、切探法	21ヶ所以内（1ヶ所につき）	16
自記オーディオメーター	350	平衡機能検査		鼻咽腔直達鏡検査	220	1. 皮膚・筋肉	500	1種につき
2. 標準語音聴力検査（ことば）	350	1. 標準検査（一連）	20	嗅裂部・鼻咽腔・副鼻腔入口部		4. 耳	400	皮内反応検査（+薬剤標準使用量0.2 mL）
3. 簡易聴力検査（一連）	40	2. 刺激又は負荷を加える		ファイバースコピー（一連）	600	5. 鼻・副鼻腔	400	減感作療法（+薬剤標準使用量0.2 mL）
気導純音聴力検査	110	特殊検査（1種目）	120	喉頭ファイバースコピー	600	6. 口腔	400	アレルギースクラッチ検査
4. 内耳機能検査、耳鳴検査（一連）	400	3. 頭位及び頭位変換眼振検査	150	内視鏡下嚥下機能検査	600	7. 咽頭・喉頭	650	（+薬剤標準使用量0.05 mL）
5. 中耳機能検査（一連）	150	4. 電気眼振図（一連）	260	食道鏡検査	400	8. 甲状腺	650	鼻粘膜誘発試験（+鼻粘膜誘発薬剤料）
他覚的または行動観察による聴力検査		4誘導以上	400	ファイバースコピー	800	病理組織標本作成（1臓器）	880	非特異的 IgE〔RIST〕
1. 鼓膜音響インピーダンス検査	300	5. 重心動揺計	250	気管支鏡検査	500	細胞診検査（1部位）	2 190	特異的 IgE〔RAST〕1種につき
2. チンパノメトリー	350	音声言語医学的検査		ファイバースコピー	2500	細菌顕微鏡検査 3. その他	40	鼻汁喀痰中好酸球検査
3. 耳小骨筋反射検査	450	1. 喉頭ストロボスコピー	450	*他医療機関内視鏡写真診断料	70	細菌培養同定検査		血液学的検査判断料
4. 遊戯聴力検査	450	2. 音響分析	450	上顎洞穿刺（片側）	60	4. 耳漏	120	尿中一般物質定性半定量検査
耳管機能測定	450	3. 音声機能検査	450	心電図（12誘導）	130	1. 鼻汁	140	尿蛋白
蝸电图	750	扁桃マッサージ法	40	超音波検査 1. Aモード	150	2. 扁桃	140	尿グルコース
鼓膜音響反射率検査	100	嗅覚検査 1. 基準嗅覚検査	450	・連鎖球菌関連検査		細菌薬剤感受性検査		尿沈渣顕微鏡検査
耳音響放射検査（OAE）		2. 静脈性嗅覚検査	45	抗ストレプトリジンO価（ASO 価）	15	1. 1菌種	140	赤血球沈降速度
1. 自発耳音響放射（SOAE）	100	電気味覚検査		抗ストレプトキナーゼ価（ASK 価）	29	2. 2菌種	180	末梢血液一般検査
2. その他の場合	300	（濾紙ディスク法）	300	A群β溶連菌迅速試験	140	3. 3菌種以上	230	〔Hb、Ht、血球数、血小板数〕
3. 聴性誘発反応検査	670	鼻腔通気度検査		インフルエンザウィルス抗原	150	出血時間	15	好酸球数
4. 聴性定常反応	800	（手術前後3カ月・他）	300	クラミジアトラコマチス核酸同定検査	210	凝固時間	18	末梢血液像
☆対称器官に係わる所定点数は、特に規定する場合を除き、処置料及び検査料には両側の点数を、手術料には片側の点数を示す。				血液型〔ABO、Rh(D)〕	21	検査時の麻酔は別に算定できる		

問い合わせ先：〒104-0031 東京都中央区2-11-8 全医協連合会館5F 特定非営利法人 日本耳鼻咽喉科医会 TEL 03-5524-5230 FAX 03-5524-5228

耳科診療を主として		鼻科診療を主として		咽喉科診療を主として		備 考
耳処置（耳浴及び耳洗浄を含む）	25	鼻処置（口、咽処置併施含）	12	口腔・咽頭処置（単独又は鼻処置と併施しても）	12	※175円ルール
耳垢栓塞除去（複雑）	片100 両150	（含鼻吸引、単純鼻出血、及び鼻前庭処置）		扁桃処置	40	レセコン使用：すべての薬剤名記載
耳垢栓塞除去（複雑）〔6歳未満〕	片150 両200	副鼻腔自然口開大処置	25	扁桃周囲膿瘍試験穿刺	180	手書きの場合：175円以下省略可能
		副鼻腔手術後の処置（片側）	45	扁桃周囲膿瘍穿刺	180	麻 酔
鼓室穿刺（片側）	50	副鼻腔洗浄又は吸引（含注入）（片側）		扁桃周囲膿瘍切開術	1,410	☆麻酔の年齢加算
鼓室処置（片側）	55	1. 治療用カテーテル使用の場合	55	間接喉頭鏡下喉頭処置	27	・未熟児（体重2.5Kg）・新生児（28日未満）加算
耳管処置（含通気、鼓マ、鼻内処置）		2. 1以外の場合	25	ネブライザー（喉頭及び喉頭下）	12	+200%
1. カテーテル耳管通気法（片側）	30	上顎洞穿刺（片側）	60	超音波ネブライザー（1日につき）	24	・乳児（1歳未満）・幼児（1～3歳未満）加算
2. ポリツエル耳管通気法	20	ネブライザー	12	唾液腺管洗浄（片側）	60	+50%, +20%
耳管ブジー法（含通気、鼓マ）（片側）	45	超音波ネブライザー（1日につき）	24	唾液腺管ブジー法（片側）	45	表面・浸潤・簡単な伝導麻酔は、薬剤料のみ
皮膚科軟膏処置 100cm ² 未満	（削除）	鼻出血止血法（ガーゼタンポン、パルーン）	240	咽頭異物摘出術 1. 簡単なもの	420	静脈麻酔 1. 短時間 120
100cm ² ～500cm ² 未満	55	鼻咽喉止血法（ベロック）	440	2. 複雑なもの	2,100	2. 十分な体制・長時間 600
皮膚科光線療法（赤外線・紫外線）1日につき	45	鼻内異物除去術	690	喉頭異物摘出術 1. 直達鏡によらないもの	2,920	筋肉注射による全身麻酔、注腸による麻酔 120
穿刺排膿後薬液注入	45	鼻甲介切除術 2. その他のもの	1,520	2. 直達鏡によるもの	5,250	神経ブロック（局麻剤使用）
血腫、膿腫穿刺	80	1. 高周波電気凝固によるもの	900	内視鏡的食道及び胃内異物摘出術	3,200	2. 蝶形口蓋神経節ブロック 800
耳介血腫開窓術	380	鼻粘膜粘膜焼灼術	900	気管支異物除去術 1. 直達鏡	7,120	4. 顔面痙攣にボツリヌス毒素を用いた場合 400
外耳道異物除去術		下甲介粘膜焼灼術	900	喉頭腫瘍摘出術 1. 間接喉頭鏡によるもの	3,420	5. 星状神経節・顔面神経ブロック 340
1. 単純	220	粘膜下下甲介骨切除術	2,590	2. 直達鏡によるもの	4,310	検体検査判断料
2. 複雑	790	鼻茸摘出術	1,680	咽頭・声帯ポリプ切除術		1. 尿・糞便等検査判断料 34点
鼓膜切開術	690	出血性鼻茸摘出術	5,280	1. 間接喉頭鏡によるもの	2,990	2. 血液学的検査判断料 125点
イオントフォレーゼ加算	+45	鼻骨骨折徒手整復術（脱臼整復術）	1,640	2. 直達喉頭鏡・ファイバースコープ	3,500	3. 生化学的検査（Ⅰ）判断料 144点
耳管狭窄ビニール管挿入術	1,420	上顎洞鼻内手術（内視鏡加算不可）	2,110	喉頭膿瘍切開術	2,140	4. 生化学的検査（Ⅱ）判断料 144点
鼓膜（排液、換気）チューブ挿入術	2,670	上顎洞開窓手術（内視鏡加算可）	2,000	喉頭浮腫乱切術	2,040	5. 免疫学的検査判断料 144点
イオントフォレーゼ加算	+45	鼻内篩骨洞手術	7,230	唾石摘出術 1. 表在性のもの	640	6. 微生物学的検査判断料 150点
経鼓膜換気チューブ 短期留置型	4,480円	副鼻腔手術内視鏡加算	+1,000	2. 深在性のもの	3,770	7. 病理学的検査判断料（N007） 150点
長期留置型	2,420円	救急処置		がま腫切開術	820	脳血管疾患等リハビリテーション科Ⅲ
鼓膜穿孔閉鎖術（一連）	1,580	1. 救命のための気管内挿管	500	口唇・舌小帯形成術	560	□. 廃用症候群の場合、イ. □以外の場合 100
耳茸摘出術	830	2. 人工呼吸（30分まで）	242	舌扁桃切除術	1,230	◎言語聴覚療法（要届出）
皮膚切開術	1. 長径10cm未満 470	3. 非開胸的心マッサージ		アデノイド切除術	1,600	単純撮影（頭部・胸・腹・脊椎）
	4. 長径5cm未満 470	（30分まで）	250	口蓋扁桃手術 1. 切除	1,430	単純撮影イ頭部、造影剤使用
創傷処理	5. 長径2.5cm未満（6歳未満） 450	喀痰吸引（1日につき）	48	2. 摘出	3,600	写真診断 85 72
創傷処置	1. 100cm ² 未満 45	6歳未満	+75	扁桃除去後止血処置（翌日以降）	1,460	写真撮影・アナログ 60 144
	2. 100cm ² ～500cm ² 未満 55	酸素吸入（1日につき）	65	診療情報提供料Ⅰ	250	写真撮影・デジタル 68 154
備 考		65+P/10円		●他の医療機関または保険福祉関係機関		写真撮影 新生児、乳幼児（3歳未満）の加算
緊急時加算：手術、麻酔又は150点以上の処置		カウンターショック（1日につき）		◎患者退院時加算	+200	+30%, +15%
時間外	+40%	1. 非医療従事者向け自動徐細動器を用いた場合	2,500	診療情報提供料Ⅱ	500	電子化加算 57 66
休日又は深夜	+80%	2. その他の場合	3,500	●セカンドオピニオン		フィルム 六ツ切5点、ハツ切5点
☆手術：乳幼児（3歳未満）加算、幼児（3～6歳未満）加算	+100%, +50%	終夜睡眠ポリグラフィー		疾病手当金意見書交付料	100	6歳未満・乳幼児 六ツ切6点、ハツ切5点
写真診断（他医療機関撮影）1. 単純撮影イ頭部 E001	85	1. 携帯用装置を使用した場合	720	療養費同意書交付料	100	嚥下造影 240
3. 造影剤使用撮影	72	2. 1以外の場合	3,300	高度難聴指導管理料 □. （1回限り）	400	外来：時間外・休日・深夜、診断・撮影料に
コンピューター断層診断（他医療機関撮影）初診時 E203	450	脳波検査判断料（月1回）	140	（イ. 人工内耳埋込術以外 要届出）		時間外緊急院内画像診断加算 +110
		終夜経皮的動脈血酸素飽和度測定	100	在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料	250	作成者：江崎俊夫 河合 真
				経鼻的持続陽圧呼吸療法用治療器加算	1,210	